

## 1. 圏域の概要

### (1) 水産業の概要

#### ① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

利尻礼文圏域は利尻島に所在する利尻町、利尻富士町及び礼文島に所在する礼文町の3町で構成されている。利尻島内に利尻漁業協同組合、礼文島内に船泊漁業協同組合及び香深漁業協同組合の計3漁協がある。

#### ② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

当圏域の主要漁業は昆布養殖漁業、採介藻漁業、刺網漁業、たこ漁業である。令和元年における漁獲量は養殖コンブが1,330トン、天然コンブが212トン、ホッケが5,517トン、マダラが2,284トン、ウニが492トン、ナマコが167トンとなっている。

当圏域ではヒラメ、ウニ及びナマコ等の種苗放流や、コンブの養殖などを積極的に行い、つくり育てる漁業を実施している。

#### ③ 水産物の流通・加工の状況

当圏域で水揚げされた水産物は圏域内で加工され地元で消費されるほか、フェリーによって稚内港に輸送された後、圏域外に出荷される。

ウニやコンブは当圏域の特産品として全国的な知名度が高く、ウニについては塩蔵、瓶詰及び缶詰に加工されるほか生鮮でも出荷されており、コンブについては乾燥コンブに加工され関西を中心に広く出荷されている。

#### ④ 養殖業の状況

当圏域では多くの漁港でコンブの養殖が盛んに行われており、養殖生産拠点地域に指定されている。

種苗については、圏域内で生産されたものを使用している。

また、放流用のウニの餌料として漁港内の水域を利用した藻類の養殖試験を行っている。

#### ⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

利尻漁業協同組合の組合員数は 510 人、香深漁業協同組合の組合員数は 126 人、船泊漁業協同組合の組合員数は 197 人である。

当圏域の組合員数は減少傾向ではあるが、後継者育成に力をいれており今後とも新規着業者の参入が見込まれる。

⑥ 水産業の発展のための取組

利尻富士町及び利尻町では「利尻地域漁業就業者対策協議会」を設立し、新規就業者対策に関する取組みを行っている。また、礼文町でも同様に「礼文地域漁業就業者対策協議会」に基づく取組みが行われている。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

波浪や風雪により漁労作業等に支障を来しており、施設整備による対策が必要である。

漁港施設の老朽化が進行しており、機能保全計画に基づいた補修や機能保全計画の見直しが必要である。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

雄忠志内漁港で水産物の輸送コストを削減するため大型漁船を駕泊港に集約する予定である。これにより生じた雄忠志内漁港内の利用可能な水域で、ウニの畜養及び放流用種苗の中間育成を行う。

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	外海離島型	設定理由；周囲に良好な漁場を有する離島で、水産物の安定生産を目指している。
② 圏域範囲	利尻町 利尻富士町 礼文町	設定理由；利尻島、礼文島近海の良質な漁場で水産物を確保し、島内または圏域外の産地市場等へ出荷している。
③ 流通拠点漁港		
④ 生産拠点漁港	第 4 種仙法志漁港	設定理由；まき網漁業を主体としており、地先に優れたまき網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港及び避難港として圏域内で中核的役割を果たしている。

	<p>第4種礼文西漁港 (元地・鉄府)</p> <p>第1種東上泊漁港</p> <p>第1種幌泊漁港</p> <p>第1種浜中漁港 (浜中・江戸屋)</p> <p>第1種須古頓漁港</p> <p>第1種西上泊漁港</p> <p>第1種知床漁港</p> <p>第1種差閉漁港</p>	<p>設定理由；刺網漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港及び避難港として圏域内で中核的役割を果たしている。</p> <p>設定理由；刺網漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。</p> <p>設定理由；刺網漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。</p> <p>設定理由；刺網漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。</p> <p>設定理由；こんぶ養殖漁業を主体としており、地先に優れたこんぶ養殖漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしているため。</p> <p>設定理由；刺網漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしているため。</p> <p>設定理由；採介藻漁業を主体としており、地先に優れたウニ、コンブ等の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしているため。</p> <p>当漁港で陸揚げされるウニは、高品質で美味であることから全国的に知名度が高い。</p> <p>設定理由；刺網漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を</p>
--	--	---

	<p>第 1 種香深井漁港</p> <p>第 1 種内路漁港</p> <p>第 1 種新湊漁港 (新湊・栄浜)</p> <p>第 1 種蘭泊漁港</p> <p>第 1 種御崎漁港</p> <p>第 1 種鬼脇漁港 (南浜・旭浜)</p> <p>第 1 種雄忠志内漁港</p>	<p>有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。</p> <p>設定理由；刺網漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。</p> <p>設定理由；刺網漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。</p> <p>設定理由；こんぶ養殖漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。</p> <p>当漁港で陸揚げされるコンブは道内外で有名である。</p> <p>設定理由；刺網漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。</p> <p>設定理由；採介藻漁業を主体としており、地先に優れたウニ、コンブ等の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。</p> <p>当漁港で陸揚げされるコンブは、道内外で有名である。</p> <p>設定理由；採介藻漁業等を主体としており、地先に優れたウニ、コンブ等の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。</p> <p>当漁港で陸揚げされるウニは、高品質で美味であることから全国的に知名度が高い。</p> <p>設定理由；刺網漁業を主体としており、地先に優れた刺網漁業の漁場を有し、沿岸漁業の基地港として中核</p>
--	---	---

	第2種本泊漁港 (本泊・大磯)	的役割を果たしている。 設定理由；刺網漁業等を主体として おり、地先に優れた刺網漁業の漁場 を有し、沿岸漁業の基地港として中 核的役割を果たしている。
⑤ 輸出拠点漁港		

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	16,570	圏域の登録漁船隻数(隻)	1,434
圏域の総漁港数	18	圏域内での輸出取扱量(トン)	-
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	3		

⑥ 養殖生産拠点地域について

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	利尻礼文
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	コンブ
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)	1,517
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	805

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

② 養殖生産拠点の形成

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

当圏域は海水温の上昇等に伴う磯焼け等により、コンブやウニの漁場や魚類の産卵、育成の場となる藻場が減少しており、持続可能な漁業生産を確保する上で、海洋環境の変化に対応した漁業生産力の強化が求められている。

このため、今後も海洋環境の変化等による影響が予想される中で、生息環境の整備により漁獲量の安定、増加が期待される魚種として、資源管理協定など資源管理の取組が行われているマガレイや、種苗放流されたヒラメ、沿岸から沖合まで成長段階により移動するソイ類といった魚類未成魚の育成の場や、それら魚類の成魚等の生息の場、ミズダコを対象とした産卵の場を造成するほ

か、磯焼けの一因であるウニの密度管理や整備水深を考慮して、ソイ類等稚魚の育成の場、ウニの漁場となる藻場を整備することにより、水産生物の生活史に配慮した広域的な水産環境の整備を行い、環境変化に対応した漁業生産力の強化を図る。

②災害リスクへの対応力強化

老朽化が進み、更新需要が増大する漁港施設及び漁業集落排水施設について、持続可能なインフラ管理の推進のため、予防保全型の老朽化対策を行う。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

水産物の安定供給や生産力向上を図ることで、圏域内の観光客数の拡大を図るために防風柵の整備を行う。

漁港施設の利用の見直しを行い、既存の泊地を最大限に利用したウニの中間育成を行う。必要な外郭施設については令和3年度までに整備済みである。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

やりがいのある雇用を創出し新規漁業就業者を確保するために、防風柵を整備し、就労環境を改善する。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点

②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
日本海宗谷	環境変化、資源管理、藻場・干潟	水産環境整備事業
利尻町	藻場・干潟	水産多面的機能発揮対策

・藻場が減少している沿岸域に、ウニの餌料やソイ類等の幼稚魚の育成場となる藻場（囲い礁）を整備するほか、ウニの密度管理や岩盤清掃、母藻の投入等により多様な生物の生活を支える藻場の維持増大を図る。

また、沿岸から沖合における、底質が砂礫であるためにミズダコの産卵に適さない場所にミズダコの産卵環境を模した産卵礁を整備するほか、沖合には魚礁を整備する。魚礁の整備によって、沿岸で成長したソイ類の生息の場及び、資源管理協定や網目制限などにより資源管理の取り組みを行っているマガレイ、栽培漁業の取組で種苗放流されたヒラメ等魚類未成魚の育成の場づくりを行うほか、それら魚類の成魚やミズダコ、タラ、ホッケの生息の場づくりを行い、これら魚類の生活史を考慮した沿岸から沖合までの一体的な整備により、水産資源の回復・増大を図り、地域の漁業生産力を強化する。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
宗谷	予防保全	機能保全事業	東上泊漁港	1	
宗谷	予防保全	機能保全事業	須古頓漁港	1	
宗谷	予防保全	機能保全事業	差閉漁港	1	
宗谷	予防保全	機能保全事業	蘭泊漁港	1	
宗谷	予防保全	機能保全事業	御崎漁港	1	

・老朽化が進んだ漁港施設について、機能保全計画に基づいた補修工事を行うことで、漁業活動の安全性を確保する。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
宗谷	地域活性化	港整備交付金	新湊	1	

・水産物の安定供給や生産力向上を図ることで、圏域内の観光客数の拡大を図るために防風柵の整備を行う。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
宗谷	就労環境	港整備交付金	新湊	1	

- ・ やりがいのある雇用を創出し新規漁業就業者を確保するために、防風柵を整備し、就労環境を改善する。

4. 環境への配慮事項

工事の実施に当たっては、環境に悪影響を与えないよう施工時期等に配慮する。

また、沿岸域に藻場施設を整備することで、これら藻場による、水質の浄化効果が見込まれるとともに、魚礁漁場と周辺の天然漁場を含め沿岸の藻場から沖合の魚礁・産卵礁施設まで魚類等の一体的な生活環境が創造され、幼稚魚や未成魚の保護・育成効果が期待できる。

5. 水産物流通圏域図

別紙のとおり

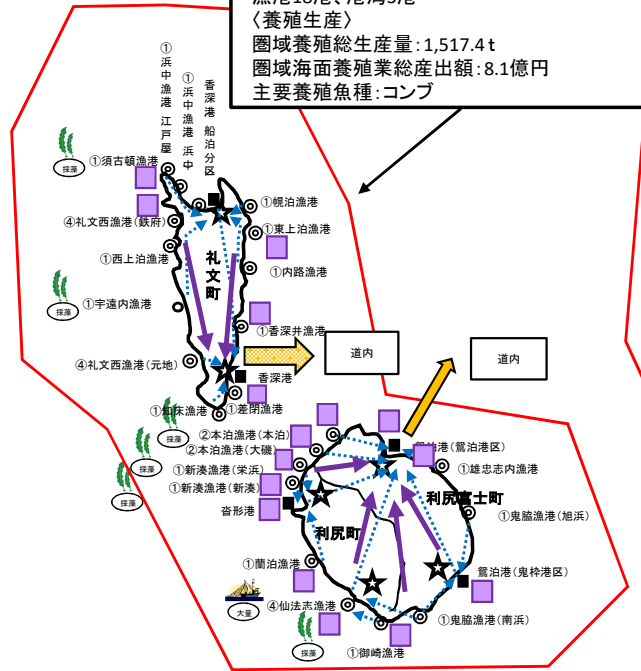


# 北海道 宗谷総合振興局水産物流通圏域図

## 利尻・礼文圏域

### 流通拠点(外海離島型)

圏域総陸揚量:16,570.5 t  
 圏域総陸揚金額:55億円  
 漁港18港、港湾3港  
 <養殖生産>  
 圏域養殖総生産量:1,517.4 t  
 圏域海面養殖業総産出額:8.1億円  
 主要養殖魚種:コンブ



## 宗谷北部圏域

### 流通拠点(一般型)

流通拠点:東浦漁港(第4種)  
 圏域総陸揚量:53,742.8 t  
 圏域総陸揚金額:151億円  
 漁港8港、港湾2港  
 <養殖生産>  
 圏域養殖総生産量:47,149.5 t  
 圏域海面養殖業総産出額:95億円  
 主要養殖魚種:ホタテガイ

## 猿払圏域

### 流通拠点(一般型)

流通拠点:浜鬼志別漁港(第2種)、知来別漁港(第2種)  
 圏域総陸揚量:49,827.9 t  
 圏域総陸揚金額:82億円  
 漁港3港  
 <養殖生産>  
 圏域養殖総生産量:48,370.8 t  
 圏域海面養殖業総産出額:70億円  
 主要養殖魚種:ホタテガイ

## 頓別圏域

### 流通拠点(一般型)

流通拠点:頓別漁港  
 圏域総陸揚量:13,643.1 t  
 圏域総陸揚金額:31億円  
 漁港2港  
 <養殖生産>  
 圏域養殖総生産量:12,547.6 t  
 圏域海面養殖業総産出額:19億円  
 主要養殖魚種:ホタテガイ

## 枝幸圏域

### 流通拠点(一般型)

流通拠点:オホーツク枝幸漁港(第2種)、オホーツク枝幸北漁港  
 圏域総陸揚量:53,340.2 t  
 圏域総陸揚金額:110億円  
 漁港2港、港湾1港  
 <養殖生産>  
 圏域養殖総生産量:37,708.0 t  
 圏域海面養殖業総産出額:67億円  
 主要養殖魚種:ホタテガイ

- : 流通拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)
  - ◎ : 生産拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)
  - : 一般漁港
  - : 港湾 (漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ)
  - ☆ : 産地市場
- 漁業: 主な魚種  
 (主な漁業種が、巻き網・底引き網等) の場合は示す)
- ← : 水産物集約 (漁船陸揚げ)
  - ← : 水産物集約 (陸送)
  - ◀ : 加工場・消費地への出荷  
 (主な出荷先として、圏域内、圏域外の県内、  
 県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等  
 をできる限り示す。)
  - ← : 養殖に係る水産物の流れ
  - : 養殖漁場

50t 未満	→
50~100 t	→
100~500 t	→
500~1000 t	→
1000~5000 t	→
5000t 以上	→